

中川根中学校2年

鈴木智由利さん



ホストファミリーの笑顔

不安と緊張でいっぱいだった私を、ホストファミリーは笑顔で迎えてくれました。それを見て、私の不安は一気に軽くなりました。最初の頃は英文で話す余裕はなく、単語やジェスチャーを使って思いを伝えました。カナダと日本では、違うことばかりで戸惑うこともたくさんありましたが、どんな時もホストファミリーは優しく接してくれました。これからもっと英語力を身につけ、自分からコミュニケーションできるようになりたいと思っています。

中川根中学校2年

山下翔太さん



気持ちが通じた時のうれしさ

僕は英語が苦手なので、ホストファミリーと会話ができるかとても不安でした。ホームステイ先でホストファミリーと初めて会った時、僕に「ハイ、ショウタ」と声をかけてくれたファミリーの温かい一言で不安はなくなりました。僕は毎日、朝と夜に必ずホストファミリーと会話をしました。何度も言い直すこともあったけれど、気持ちが通じた時はとてもうれしかった。大変なこともたくさんありましたが、ファミリーとの時間が一番心に残っています。

中川根中学校2年

中野里保さん



人と接する大切さを知った

私はこの研修を通して、人と接する大切さを知りました。私は最初、何を話していいかわからず、自分から話すことができませんでした。ファミリーに質問されてもイエスやノーなど、一言しか返すことができませんでした。しかし、毎日一緒に過ごすうちに、少しずつ会話できるようになりました。いつの間にか積極的に話しかけようとする自分になりました。私はこの研修で学んだことを、これからの生活に生かしていきたいと思います。

中川根中学校2年

藤田潤平さん



心で通じ合えた気がする

僕の心に強く残っていることが2つあります。1つは「気候の違い」。日本の夏は蒸し暑く、少し歩いただけでも汗が出てくるのに、カナダでは日差しは強いけど蒸し暑さはなく、とても過ごしやすかったです。2つ目は「カナダ人はとてもフレンドリー」だということ。何ごとにも大らかで親切な人が多かったです。英語が苦手でも、心で通じ合えた気がします。今度僕がカナダに行った時には、日本の良さを伝えられたらいいなあと思いました。

中川根中学校2年

森脇祐矢さん

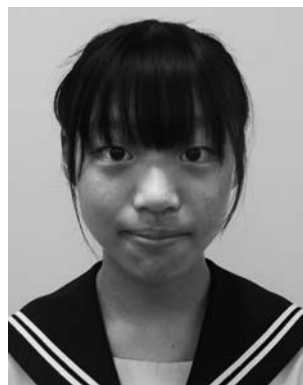


僕にとって最高の思い出に

僕はこの海外英語研修のことを小学2年生の時に知りました。「中学2年になったら僕も参加したい」という思いが芽生え、それからは一生懸命英語の勉強を頑張ってきました。夢がかなった研修では、どんな出来事が待っているだろうとわくわくしながら旅立ちました。最初は、ホストファミリーとうまく会話ができなかったけれど、だんだん日が経つにつれて英語にも慣れ、笑顔で過ごせるようになりました。僕にとって最高の思い出になりました。

中川根中学校2年

小川真吏香さん



英語力に自信がついた

10日間のカナダ研修。英語が得意ではない自分にとって、英語だけの世界はとても不安なものでした。研修へ行く前は、本当に会話ができるのかとても心配でした。でもカナダから帰ってきた今、感じるの「以前より英語に自信がついた」ということです。日本の良さにも改めて気付くことができました。今、日本は震災で大変な時ですが、こんな中でも研修へ行かせてもらい、貴重な経験ができたこと。感謝の気持ちでいっぱいです。

生徒たちはホームステイ期間中、現地の人たちと交流を深めながら英語力を磨きました。触れ合いやボランティアの体験を通して、異国の文化、生活習慣などを学びました。初めてづくしの毎日。新たな自分を発見してワクワクしたり、自分にはない考え方に当たってドキドキしたりと、ほかでは得られない貴重な経験があふれていました。海外英語研修は、語学力を学ぶだけでなく、積極性や思いやりの心など「人間力」をはぐくむことにもつながっているのです。

生徒を迎えるホストファミリーは、本当の家族の一員として生徒を迎え入れます。最初は戸惑い、緊張していた生徒たちも、身ぶり手振りを交えながら必死に意思を伝え、家族の言葉に懸命に耳を傾けました。毎日一緒に過ごす中で互いの理解が生まれ、気持ちが通じ合うことで信頼関係が深まってきました。

この英語研修の経験者は「何よりうれしかったのはホストファミリーの愛情だった」と言います。今回の生徒たちの感想にも、ホストファミリーと過ごした時間のことがたくさん書かれていました。

かけがえのない体験と時間、そして家族愛を覚えてくれた海外英語研修。帰国した子どもたちの表情には、多くの成長が見てとれました。

充実の体験
受けた愛情
身に付いた自信
帰ってきた
子どもたちの
表情には
確かな成長があった

